



陵雲だより

学び合う子供の育成～主体性を育む学級経営の充実～

第3号

令和8年6月30日（火）

旭川市立陵雲小学校



行事の体験を生かすこと、そして、安全・安心な地域づくりへ

校長 佐藤 聖士

＜学校行事から＞

6月2日（火）、1年生から4年生まで遠足を実施しました。予想最高気温は6月にして30℃！晴天のもと予定を繰り上げて出発。各学年、活動時間や目的地の変更。日陰で過ごすことなど工夫し、予定よりも早めに学校に戻り、教室でエアコン下のクールダウン。給水と再度のおやつでエネルギーを補給し下校しました。当職が学級担任をしていた頃は、リラ冷えや曇天の多かった遠足。それが20年の時を経て、暑熱対策が必要になりました。確かに暑くなった北海道を実感した一日でした。

6月16日（火）～17日（水）、1泊2日で6年生の修学旅行を実施しました。目的地は小樽・札幌。御家庭の御理解と御協力に心より感謝申し上げます。度々の私事で恐縮ですが、教員生活最後の修学旅行引率を本校で締めくくることができたことは大変有難いことでした。こちら好天に恵まれ、大倉山ジャンプ台の頂上から200万都市札幌を俯瞰。麓の札幌オリンピックミュージアム館長は、1994年リレハンメル冬季五輪ノルディック複合団体の金メダリスト阿部雅司氏。記念写真をとっていただいたお子さんもいました。当別町にある今年3年目を迎えたロイズカカオ&チョコレートタウン。田園風景の中にそびえる真っ白な建物に圧倒されました。日本では栽培が難しいとされているカカオがチョコレートになるまでの過程を熱心に見学。第2日目も好天は続き、小樽水族館でのバックヤードツアーで、普段見ることのできない大きな水槽の裏側を見て、沢山の感動と発見の2日間でした。

5年生の宿泊研修は、7月6日（月）～7日（火）。1泊2日でネパール深川、滝川B&Gあそりバ。様々な体験活動を行います。遠足や修学旅行と同様、仲間と過ごす集団活動では、自分のしたいこととグループや全体の動きに、気持ちも行動も折り合いを付ける必要があります。このことが、小学生が体験する“社会生活”の「実体験の場」です。これらの体験を経験へと昇華させ、今後の学校生活に、しっかり生かしてまいります。

＜防災～安全・安心なまちづくり＞

6月9日（火）、末広地域防災訓練の準備委員会に参加させていただきました。末広地区は石狩川に隣接しています。歴史を紐解くとき、治水にあたられた先人の御労苦にただただ感謝し敬意を表します。自助・共助・公助という言葉があります。大きな災害に遭遇すると、援助者も被災していることが前提です。旭川市は比較的災害の少ない街だと思いますが、これまでの被災から学び、災害に強い街づくりをしてきた歴史を実感します。ライフラインと呼ばれる生活に欠くことのできない各種インフラ。ブラックアウトの際にも上水道は安全な水を供給し続けました。冬季の停電を想定し、暖を取る手段を複数用意されている御家庭もおりかと拝察します。つい先日の報道で、十勝岳の噴火警戒レベルが「2」に引き上げられました。想定を様々な広げながらも「備えを常に」。10月に開催される地域防災訓練に、私も参加させていただきます。

夏に向かう6月。様々な体験を通して、子供たち、家庭・地域の皆様と、共に学ぶ貴重な時間と機会をいただきました。人と人、人と自然、折り合う点や線を見つけること。まさかはいつもの中にあること。共に手を携えて進んでまいりましょう。（6月29日記）

いじめ防止集会を行いました

先日、児童会による「いじめ防止集会」を行いました。全校児童が体育館へ集まり、いじめを許さない「いじめゼロ」の学校を目指して決意を共有しました。

集会内の「名刺交換」では、異なる学年の友達と積極的に言葉を交わし、交流を深めることができました。今後は児童会がリーダーシップを発揮し、児童主体の新たな取組を企画・検討していく予定です。

今後子供たちの健やかな成長と思いやりの心を学校全体で育ててまいります。御家庭でも温かい見守りと御協力をよろしくお願いいたします。

運動会保護者アンケートの集計結果と今後の改善について

保護者の皆様には、先日の運動会への温かい御声援と御協力をいただき、誠にありがとうございました。また、運動会後に実施いたしました保護者アンケートには、総数 204 件（記述欄 269 件）にのぼる大変貴重な御意見・御感想をお寄せいただき、重ねて御礼申し上げます。今回は、その集計結果の概要と、皆様からいただいた御意見を踏まえた今後の改善への取組について御報告いたします。

■ 選択式質問の集計結果

「やる気」および「協力」に関する質問では、皆様から非常に高い評価をいただきました。

- ・子供たちのやる気について：「よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」を合わせて **99.0%**の保護者が、子供たちの前向きな姿勢を感じておられました。
- ・友達との協力について：こちらも同様に **99.1%**の方が、周囲と協力して取り組んでいたと評価されています。

■ 記述欄より：温かいメッセージ（よかった点）

記述欄には、子供たちの成長を喜ぶ多くの感動の声が寄せられました。

- ・**最後まで諦めない姿**：大差がついたり転んだりしても全力で走りきる姿、真剣な表情に多くの保護者が感動されました。
- ・**団結力と高学年の活躍**：赤白ともに力強い応援があり、5・6年生が責任感をもって係活動や低学年のお世話を行う姿に成長を感じたという声が多くありました。
- ・**開催形式・運営への好評**：50周年の工夫を凝らした競技、土曜日・半日（午前中）開催、および座席の「事前くじ引き方式」は、負担軽減や公平性の観点から大好評をいただきました。

■ 今後の課題と改善に向けた取り組み（御要望・御指摘）

一方で、今後の運営に向けた貴重な御要望や、安全管理に関する御指摘もいただいております。学校として真摯に受け止め、以下のように改善を図ってまいります。

1. 競技配置とルールの見直し：「指定席から我が子の競技が見えづらかった」との御指摘を踏まえ、グラウンド中央の活用など配置を工夫します。また、競技の役割分担やルールは不公平感や誤解を与えないよう事前説明を徹底し、リレー等の練習量も確保します。

2. アナウンスと情報共有の改善：放送が聞き取りづらかった点を改善するため、音量や内容（現在の競技や走る組の案内）を工夫します。案内プリントの配付時期を早め、登校時間の記載ミスがないよう点検を徹底します。

3. 応援・撮影マナーの周知：座席での立ち上がったの撮影や、閉会式中の片付けによる視界不良、撮影スペースの占有などが見られました。誰もが気持ちよく観覧できるよう、ルールの周知や事前の注意喚起、当日のアナウンスを強化します。なお、事前図面で誤解を与えないよう座席番号の表記を工夫します。

4. 下校時の混雑緩和と安全管理の徹底：お迎え時の大混雑に対し、各学年の観覧席の前での合流などの改善策を検討します。また、係活動中のトラブルへの指導、解散時の確実な人数確認など、児童の安全管理を最優先に徹底してまいります。

皆様からいただいた貴重な声をしっかりと次年度以降の運営、及び学校行事に生かし、より安全で充実した教育活動を目指してまいります。今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。